

第8回アジア太平洋ろう者競技会 ～台湾・桃園～

JAPAN SPORT
COUNCIL
日本スポーツ振興センター

競技力向上事業

男子Sベスト4独占！

編集：山本広報・尾形強化スタッフ

平成27年10月5日(月)

【タイムスケジュール】

6時～朝食
8時 ホテル出発(送迎バス)
9時 国立体育大学到着
10時～17時半 試合
18時半 ホテル到着、洗濯、買い出し
19時～夕食

本日9試合 8勝1敗、快進撃日本！
男子シングルスでは、出場選手4人が全員準決勝に進出しました。

【試合】 結果・梶下コーチコメント・選手コメント

男子シングルス

○梶下 怜紀 2-0(6-0、3-0ret) ●LIN Chun-Jan(台湾)
1ゲームも与えないという圧倒的な力で勝ち進む。

＜梶下選手コメント＞

自分のペースでしっかりと打てた。台湾に来てから日を重ねるごとに調子を上げてきているので明日もいい試合をしたい。

○松下 哲也 2-0(6-0、6-1) ●WANG Guo-Wei(台湾)
梶下と同様、1ゲームも与えないという勢いで圧倒的な力で勝ち進む。

＜松下選手コメント＞

シングルス、ダブルスともに台湾に勝つことができました。身体のあちこちが悲鳴をあげています。明日の試合に備えてケアをしたいと思います。

○親松 直人 2-0(6-1、7-5) ●LUI John(オーストラリア)
安定したサービスとフォアハンドストロークで第1シードにストレート勝ち！

＜親松選手コメント＞

決して楽な試合ではなかった。リードされた時も、しっかり作戦を組み立てて、追いつけたので相手にプレッシャーをかけたのが勝因かなと思います。

○鈴木 裕将 2-1(7-5、0-6、6-3) ●YANG Zengbao(中国)
ファイナルにもつれこむ3時間以上のロングゲームの末にYANGが救急車で運ばれるというアクシデント...

＜鈴木選手コメント＞

相手は台北デフリンピック3位の選手。実力は上だけど、ラリーをつなげてチャンスボールを決めた。しかし持久戦になってしまい、2セットは相手を動かすために捨てて、自分は体力温存した。2セット目の後、トイレ休憩をとって気持ちを切り替えた。体力勝負にもちこんだ結果でした。



斎藤監督から男子選手への激励



親松 vs Lui John(オーストラリア)

男子ダブルス

○梶下怜紀&松下哲也 2-0(6-3. 6-1) ●LIN & WANG(台湾)
コンビネーションよくストレート勝ち。

〈梶下選手コメント〉

やるべきことはしっかりやった。途中でお互い方向性を見失ったこともあったが明日はしっかりコミュニケーションをとりたい。

○鈴木裕将&親松直人 2-0(6-0. 6-0) ●CHIN & HUANG(台湾)
コンビネーションよくストレート勝ち。

〈親松選手コメント〉

お互いに息のあったプレーができたので、ストレート勝ちできた。

〈鈴木選手コメント〉

ペアがいいサーブを打ってくれたので、ポーチに出て決めてお互いいいプレーができました。



梶下・松下 vs Lin・Wang(台湾)

女子ダブルス

●豊田恵子&村山奈留美 0-2(1-6. 0-6) OHO & LIN(台湾)
残念ながら第一シードの台湾ペアにストレート負けし決勝進出を逃した。

〈豊田選手コメント〉

クロスラリーしかできず、ストレートやロブも使いたかったが、できる状況ではなかった。悔しい。

〈村山選手コメント〉

相手のポイント間のペースが早く、自分のペースにもっていけなかった。ポイント間の時間もうまく使うべきだった。



豊田・村山 vs Ho・Lin(台湾)

ミックスダブルス

○親松直人&村山奈留美 2-1(4-6. 6-4. 10-4) ●TANG & WANG(中国)
タイブレークになるものの、10-4で勝つ！

〈親松選手コメント〉

ミスが早かったので、スライスを使うことでミスを減らした。後は後ろのペアに任せた。ストレートのロブがよかったので、ボレーで決めれた。

〈村山選手コメント〉

自分はチビだけど、高く弾むスピンボールをしっかり返し、また取れなさそうな球を自分の武器である足で拾うことができたことが相手にプレッシャーをかけることができたかなと思う。
とにかく、守って守りました！ペアがボレーを決めやすい状況を作ることに集中しました。



親松・村山 vs Tang・Wang(台湾)

○梶下怜紀&山口華恵 2-0(6-4. 6-2) ●CHIN & HO(台湾)
第2シードの台湾ペアにストレート勝ちしました。

〈梶下選手コメント〉

絶対負けるわけにはいかないという気持ちで頑張りました。

〈山口選手コメント〉

相手はベテランペア。球のスピードはそんなになかったが、空きを狙われることが多く、そうならないよう配分することに集中し、後はペアが決めてくれました。それがポイントにつながりました。次もまた台湾ペアに当たりますが、最大限の力を出したい。



梶下・山口 vs Chin・Ho(台湾)

斎藤監督のコメント

昨日に続き、非常にタフな試合でした。

男子シングルス、ダブルス、女子ダブルス、混合ダブルスでベスト4をかけた試合でした。

男子シングルス、ダブルスで、4人全員がベスト4進出しました。

今日は9戦やり、8勝。選手達は本当によくやってくれました。